

ニプロ株式会社第1回 『無担保社債（劣後特約付）（ソーシャルボンド）』の引受けについて

今般、みずほ証券株式会社（取締役社長：飯田 浩一）は、ニプロ株式会社が発行するソーシャルボンド（以下「本ソーシャルボンド」といいます。）の引受主幹事を務めましたので、お知らせいたします。

本ソーシャルボンドで調達された資金は、その全額が、総合医療メーカーとしてグローバルに社会課題解決に取り組んでいるニプロ株式会社の4つの事業セグメント（国内事業、国際事業、医薬事業、ファーマパッケージング事業）を対象事業として、それぞれにおける設備投資または研究開発費に対し、新規資金または借換資金として充当される予定です。

ニプロ株式会社は、ソーシャルボンド発行のために、国際資本市場協会（ICMA）が定める「ソーシャルボンド原則2020」に即したソーシャルボンド・フレームワークを策定し、その第三者評価として株式会社格付投資情報センターから「R&I ソーシャルボンドオピニオン」を取得しています。

当社は、社会と〈みずほ〉の持続的な発展に向けて、金融機関として貢献すべき取り組みを積極的に推進しており、資本市場における ESG（環境・社会・ガバナンス）債の専門的な情報収集、お客さまの ESG 債ストラクチャリングを支援するため、2017年にサステナブル・ファイナンス・デスクを設置し、その後2019年からサステナブル・ファイナンス室を新設して、これらの取り組みを強化しています。

さらに、環境金融における専門性を高めるため、グリーンボンドの認証制度および気候変動対策投資を推進する国際 NGO である Climate Bonds Initiative^{※1} とパートナー契約を締結しています。

これらの取り組みにより、当社はソーシャルボンド等の引受けなど、さまざまなお客さまの ESG 債の起債を支援し、ストラクチャリングなどを通してお客さまの社会貢献への取り組みを全面的に支援しています。

当社は、日本の円建て債券市場でトップティアの取引シェアを確保しています。また、海外市場では、お客さまのさまざまなニーズに応えるためのクロスボーダー債券取引を強化し、実績も着実に増加しています。

当社はグループの総合力を活用し、今後もお客さまの金融取引を通じた社会貢献への取り組みをサポートし、ESG 債をはじめとする債券の引受けを一層推進し、最良のサービスを提供してまいります。

以上

※1 ロンドンに拠点を置く国際的な組織で、100兆ドルの債券市場を気候変動対策のために活用することを目的とし、低炭素・気候耐久経済への迅速な移行のために必要なプロジェクトや資産への投資を促進する活動を行っています。